

ひろばちがさき

NO. 1076

新政ちがさき

2015年1月16日 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内 0467(82)1111

新政ちがさき有志
 岸正明 87-8766
 こいそ妙子 52-6731
 和田清 84-9969
 よしかわ和夫 86-0032
 早川ひとみ 52-8361

救急搬送時間国平均より9分6秒短い！

『昨年』の市内救急救助出動の状況が発表されました。概要は以下の通りです。

●救急出動件数一万件超！

平成26年の出動件数は、10,243件（昨年比約1%減少）で昨年に引き続き1万件の大台を超え、1日平均約28件の出動となりました。搬送人員は、80人減少し9,648人搬送しました。

119番通報を受けてから、病院に収容するまでの平均所要時間は29分36秒で、25年全国平均の38分42秒（総務省「平成25年救急救助の概要」）より9分6秒早い結果となりました。

●救急搬送は高齢者が増！

事故種別ごとでは、一般負傷が44人、その他が27人増加していますが、急病が44人、交通事故が107人減少し、全体では80人減少しています。

傷病程度別では、中等症及び軽傷が減少しましたが、

死亡が29人、重症が98人増加しました。

これは、高齢化などによる高齢者の搬送の増加が一因と考えられ、全国的にも同様な傾向となっています。毎年、軽症者の搬送は減少していますが、それでも約39%を占めているため、「救急車の適正な利用」について、啓発及び周知を継続していくとしています。

●火災46件、死者3名！

平成26年に茅ヶ崎市内で発生した火災は46件で、平成25年の65件に比し約3割減少しました。理由としては、建物火災が10件、その他の火災が6件減少、出火原因として、放火・放火の疑いによる火災が9件、こんろによる火災が8件減少したことなどがあげられます。また、火災の死傷者は、死者が3人、負傷者は15人となり、昨年と比べ負傷者が11人減少しています。

【注】徳洲会病院の休院により救急搬送時間が伸びている事実があります。また、狭隘道路等で、災害時の救急・消防活動が困難な状況です。軽症での救急利用を控える事や、

家屋崩壊やクラスタ対策など都市整備の改善が急務です。

過去3年間の署所別救急件数

署所	24年	25年	26年(増減)
本署	1,846	1,881	1,843(-38)
小和田	1,991	1,906	1,897(-9)
鶴嶺	1,197	1,241	1,289(+48)
松林	2,103	2,143	2,170(+27)
海岸	2,319	2,283	2,222(-61)
小出	793	867	822(-45)
合計	10,249	10,321	10,243(-78)
前年比	4.1%	0.7%	▲0.7%
搬送人員	9,748人	9,728人	9,648人(-80人)



ちがさき 広報 広報 広報